

基本計画・SNA課題対応WGでの検討対象課題等について(案)

(○:必要性高、△:必要性低、×:必要性無)

課題名等		現在の状況	本WGでの検討の必要性	WGでの検討時期	備考(検討事項等)
基本計画関係	①固定資本減耗への時価評価の導入	・国民経済計算において、平成17年基準改定(本年末予定)時に、時価評価を導入する予定。	○	平成23年度前半	時価評価の導入が、産業連関表に及ぼす影響の検証等
	②公的部門の分類の格付け見直し	・国民経済計算において、平成17年基準改定(本年末予定)時に、新たな判断基準により当該見直しを実施される予定。	○	平成23年度前半	格付け見直しが、産業連関表に及ぼす影響の検証等
	③詳細な供給・使用表とX表からなる体系への移行 ④生産構造・中間投入構造の把握方法の検討	・平成22年度に投入調査WGにおいて、投入調査の改善方策及び産出先調査の実施方策を検討し、一定の結論を得た。	×	—	課題③関係については、別途、部門分類等検討WGにおいても、部門の設定方法や推計精度の検証等を実施中。
	⑤基本価格表示による産業連関表の作成に向けた検討	・平成22年度に基本価格表示WGにおいて、基本価格表作成に係る技術的課題を検討し、一定の結論を得た。 ・今後、基本価格表作成に当たって、国税庁データの利用可能性について確認及び利用可能な場合における技術的検討が必要。	△	—	—
	① 育成資産(仕掛品在庫)の推計方法の変更 ② 自社開発ソフトウェアの資本形成への計上 ③ FISIM(間接的に計測される金融仲介サービス)の本系列への移行 (※上記以外の課題が追加される可能性あり。)	国民経済計算において、平成17年基準改定(本年末予定)時に対応する方向。 同上 同上	○	平成24年1月以降	—
分類関係	①「管理、補助的経済活動を行う事業所」への対応	・平成22年度に投入調査WGでの本社等の活動実態調査の改善方策に関する検討の中で、本社部門を設定する場合に必要なデータの把握方法について検討。 ・今後、本社部門を設定する場合のメリット、デメリットを整理した上で、設定の是非について産業連関技術会議に諮ることが必要。	(本社部門の設定の是非について、産業連関技術会議に諮った後に判断)	—	—
	② その他(1010桁分類の細分化(経済センサス関連)等)	・部門分類等検討WGにおいて、一部の部門につき10桁分類の細分化の必要性を指摘。	×	—	(部門分類等検討WGでの検討事項)
経済センサス関係	①企業調査票と事業所調査票との生産額の乖離の取扱い	・未検討 ・検討に当たっては、経済センサス-活動調査の調査実施者から要ヒアリング。	○	平成23年度前半	
	②従産業の細分化について	・未検討	○	平成23年度前半	
	③在庫の組替集計等について	・未検討	○	平成23年度前半	
	④消費税の扱いについて	・未検討 ・検討に当たっては、経済センサス-活動調査の調査実施者から要ヒアリング。	○	—	(検討時期は、経済センサス-活動調査の調査実施者の方針の確定時期如何)
	⑤その他(東北地方太平洋沖地震の影響把握等)	・未検討	○	—	(同上)